

ふれあい通信 いづみ

平成24年6月15日発行

14号

発行
社会福祉法人 いづみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018-896-5880



住むところ愛して
絆づくりを

これらの項目から今後の町内会活動の地域課題を考えますと「迫り来る少子高齢化社会に対応した絆づくり」にまとめることがあります。町内の多くの皆さんは、「泉学区に住む価値を見出していく」と構えており、誰しも住むところには愛着を持つております。この愛着心を活かすことが「絆づくり」の鍵を握っているものだと思います。会長として町内会を取り組んでまいります。

この3月、地域づくりを進める立場から町内会長を対象に町内会活動の現状や課題についてアンケート調査をお願いしました。回答の中から町内会活動に関する「重要なと思う活動」と「今後、積極的に取り組む必要がある活動」の2つの回答を選び、これから町内会など地域活動のあり方を考えてみました。回答数の多い5項目をあげますと「住民同士の交流」が一番多く、次いで「懇親会」「独居老人への声かけ」「回覧板等の情報伝達」「高齢者福祉」の順となっております。

この3月、地域づくりを進めることで職員のパワーと明るさに助けられて仕事をする毎日です。いづみ会とは、リンデンバウムの完成時に施設を見学させてもらったり、学生の実習施設としてお世話になるなど御縁がありました。改めて管理者として感じる事はこの泉地区に根差した福祉施設としての歩みを職員が大事にしてきた歴史があること。そしてめまぐるしく変化する福祉へのニーズに専門職としていかに応えるか、日々奮闘している職員の真摯な姿です。それでも、私達の仕事が良いかどうかは利用者さんが答えを出してくれるでしょう。皆さんから「OK」サインを戴けるように、職員共々頑張りたいと思います。

今年の4月からいづみ会に赴任いたしました。まだまだ不慣れで職員のパワーと明るさに助けられて仕事をする毎日です。いづみ会とは、リンデンバウムの完成時に施設を見学させてもらったり、学生の実習施設としてお世話になるなど御縁がありました。

改めて管理者として感じる事はこの泉地区に根差した福祉施設としての歩みを職員が大事にしてきた歴史があること。そしてめまぐるしく変化する福祉へのニーズに専門職としていかに応えるか、日々奮闘している職員の真摯な姿です。それでも、私達の仕事が良いかどうかは利用者さんが答えを出してくれるでしょう。皆さんから「OK」サインを戴けるように、職員共々頑張りたいと思いまますのでよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム
リンデンバウムいづみ副施設長
辻 宏子

新任にあたり



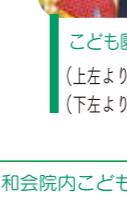
リンデンバウムいづみ 新スタッフ

事務室
齐藤 恵美ホームヘルパー
ステーション
保坂 安子デイサービス
センター
菊池 千秋ケアハウス
スプリングヒル
高階 倫子特別養護老人ホーム
(上左より) 佐藤ひとみ、戸堀美由紀、金持直希
(下左より) 武田悠、東海林麻穂、池田崇

スタッフ紹介



ウェルビューいづみ 新スタッフ

事務室
樋渡 美緒生活支援ハウス
西田 昌枝(左より) 佐々木まさ子、佐々木千鶴、石井寿実子
(下左より) 青木優、大繩楓、山本晃子

明和会院内こども園 (左より) 富樫佳子、佐藤尚子

いづみ竿燈会
小若の活動

地文化遺産活性化事業を活かした小若の活動はじまる!!

泉学区創立30周年の年に町内会の皆様から小若竿燈を立ち上げていただき、地域や保護者の理解も得られるようになりました。250年の昔から受け継がれてきた伝統の竿燈を「ふるさと泉」で世代を超えた交流の場に育てたいと取り組んでいます。昨年から文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」に児童・生徒44名が参加し実施しています。



